



教師を目指す学生による「学生文化」「学校文化」の創造と
新たな「学生と学校のWin-Winの関係」の構築

東浦町SP通信

～東浦町では、学生ボランティアを“職員の仲間”という思いを込めて、
「SP」または「スクールパートナー」と呼んでいます。～

第5号

2021年5月26日

編集 緒方 なな
東浦町教育委員会
SPコーディネーター

東浦中学校 1学期中間テスト対策自主学習会

5月14日・18日、東浦中学校で中間テスト対策の自主学習会が開催され、そこに3人のSPさんが参加をしてくださいました。忙しい平日の夕方に参加してくれた少数精鋭のSPさんたち、ありがとうございました。

今回参加した生徒の数がとても多く、SPさんは大変だったかと思いますが、それだけ生徒のみなさんが、SPさんが参加してくれる自主学習会の良さや効果を、昨年度実感してくれていたのでしょう。

3人のSPさんは、昨年度もこの学習会に参加をしてくださいましたので、流れもよく分かっていました。何をしたら良いのか迷うこともアタフタすることもなく、スッと生徒に近寄り、声をかけていました。さすがです。すぐに場に溶け込める、場の様子を見て、考えて行動できる、改めてSPさんたちの質の高さを感じました。

3人のSPさんが書いてくれた、活動記録を掲載します。いつもながら、内容が秀逸です。ぜひ読んでみてください。



初回の学習会から何度も参加させていただいており、そろそろ慣れてきたかななんて思っていたのですが、前回に比べて圧倒的に学生ボランティアの人数が少なく、やはり緊張しました。生徒も聞こうかどうしようかと悩んでいるようでしたが、「大丈夫?」「順調?」などと声をかけると「分かりません」と言ってくれたのでその後、指導を行うことができました。どの教科でも可、ということで参加しましたが、自分自身少し曖昧なところがあり反省しています。もっとこちらから声をかけて、生徒が「ここ分かりません」や「教えてください」などと言える雰囲気を作りたいと思いました。

【名古屋女子大学4年 Oさん】

東浦中学校でのテスト対策のボランティアは2回目で、今回も頑張ろうと思っていた。しかし、前回とは、教える側の人数や、教室の雰囲気の違い、あまり教えることができなかった。また、一つの教科だけを教えると思っていたが、5教科すべてを担当することになったため、自分の対応力のなさを痛感した1時間であった。今回のようなことがないよう、コミュニケーション力や臨機応変に対応できる力を少しでもつけ、次回につなげたい。

【愛知淑徳大学2年 Sさん】

今日は、東浦中学校の勉強会に参加した。3年生の数学（展開・因数分解）を担当した。意識したことは、生徒に考えさせることである。展開や因数分解でも、ただ解き方を教えるのではなく、「式の中にヒントは隠されていないか」、「工夫して解けることはないか」というのを伝えて、生徒自身が考えられるようにした。テスト中は、1人で解かなければいけないので、今後もそういったことを意識していきたいと思う。

【愛知県立大学4年 Mさん】